

高校生が選ぶ「読書大賞」ロゴマーク

入戸さん作品 最優秀賞

上伊那高校図書館協議会が募集した「上伊那の高校生が選ぶ『読書大賞』」ロゴマークに、駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)電気科3年の入戸龍兵さん(18)の作品が選ばれた。「読書大賞」10周年を記念した取

り組み。今年度開設したフログ等で、活動のシンボルとしてロゴマークを活用する。作品は円形に並べたさまざまな色の本から、星やロゴタイプ(文字)が降るように描かれている。入戸さんは「本を

読むことは想像と夢。たくさ
んの本をイラストにし、星を
て、結果を発表した。
ちりばめた」と話している。
協議会加盟の上伊那地域の
公立8校を対象に、生徒と教
職員から作品を募集。18作品
の応募があった。昨年12月に
開いた生徒研究会で各校の図
書委員らが投票を行い、最優
秀作品を選出。独自に創作さ



最優秀賞に選ばれた入戸龍兵さん制作のロゴマーク

上伊那高校図書館協議会加盟の公立8校から募った「上伊那の高校生が選ぶ『読書大賞』」ロゴマークで、駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)から出品した3点(3人)が入賞した。共に3年生で、電気科の入戸龍兵さん(18)が最優秀賞、情報技術科の山本竜矢さん(18)が優秀賞、同、上山直道さん(18)が佳作を受賞。授業で習得した技術で上位をほぼ独占した。
全学科を対象とした選択科目「コンピュータシステム技術」で3年生が取り組んだ。コンピューターにおける文字や音声、画像などの仕組みや特徴を理解し、それを統合して取り扱うマルチメディアを学んでいる生徒らは昨年10

駒工高生3人が入賞

月、画像編集やコンピューターを使ったデザイン等で培った技術を応用し、ロゴマーク制作に挑戦、応募したという。卒業後はデザインを学びたいと目標を口にする入戸さんは、読書から連想する「想像」や「夢」をデザインした作品で評価を得たことを喜ぶ。山本さんはロゴタイプ(文字)を画面上に並べてから全体をデザインする手法で入賞。上山さんはペンツールを駆使して、

ブルーのしおりをアクセントにカラフルに仕上げた作品で評価された。応募を勧めた同校図書館の学校司書田村あかねさんは「ただでさえ慌ただしい3年生が授業の中で取り組み、学校の特性を発揮して上位に入った」とたたえていた。(倉田高志)



「読書大賞」ロゴマークに応募し、入賞した駒ヶ根工業高校の生徒(左から山本さん、入戸さん、上山さん)